

国分川調節池を育む会

第28号

編集・発行 国分川調節池を育む会事務局（市川市水と緑の部公園緑地課） 〒272-0033 市川市市川南2丁目9番12号

平成28年度において3回開催した「国分川調節池を育む会」のなかで、市から提示した自然ふれあいゾーンの観察園路と観察デッキの設計案について、会員の皆様から様々なご意見・ご提案が寄せられましたことから、平成29年2月に「設計に関するアンケート調査」を実施し、3月15日の第29回の育む会ではアンケート結果の報告及び設計案について説明した後、あらためて意見を伺いました。

今回、最終設計としてまとめましたので、本会報にて皆様に報告させていただきます。

1. アンケートの結果について

観察デッキ及び観察園路の形状に関するアンケート結果については、下記のとおりです。デッキは四角形をイメージした形状、園路は地覆の構造が良いとの意見が多くありました。（配布数：42部、回収数：26部）

Q1) 観察デッキの形状について

舟をイメージした形状 … 9名 (34%)
 四角形をイメージした形状 … 15名 (58%)
 その他 … 2名 (8%)

Q2) 観察園路の構造について

地覆の構造 … 18名 (69%)
 転落防止柵の構造 … 5名 (19%)
 その他 … 3名 (12%)

【各設問への回答理由】

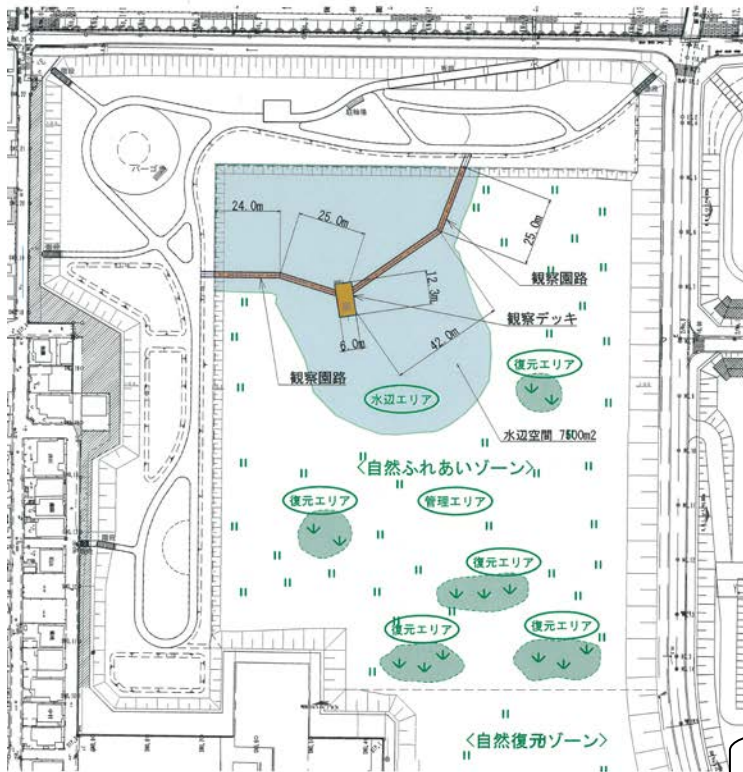
デッキの形状	舟をイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び心があって良い。 ・自然の中にいる体感が得られる。 ・シンボリックになることで、子どもたちが自然を身近に感じることができる。 ・水辺なので舟の形態には賛成。（べか舟、高瀬舟が良いのでは。
	四角形をイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・目的は防災（調節池）であり、大勢の人集めは不要。 ・周りが広々としているほうが良い。 ・自然で、落ち着いた形であるため ・観察デッキの目的を果たしていれば良い。 ・子どもたちに愛着を持ってもらうのは見た目や施設ではなく、池の自然や生き物である。
園路の構造	地覆の構造	<ul style="list-style-type: none"> ・開放感があってゆったりでき、水辺を肌で感じられるので、自然ふれあいゾーンのコセプトに沿っている。 ・うっかり人が入ってしまうような場所ではないので、最小限で構わない。シンプルで、自然な形に。
	転落防止柵の構造	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな子が転落して、怪我・死亡することのないように。 ・安定感、安心感がある。

（裏面に続く）

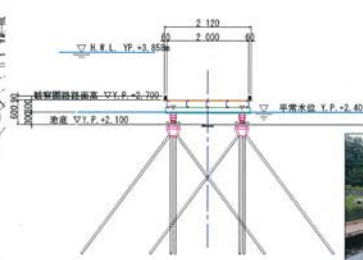
2. 最終設計について

アンケートと第29回の育む会での検討を踏まえ、事務局で最終設計をまとめました。

観察園路、観察デッキ配置図



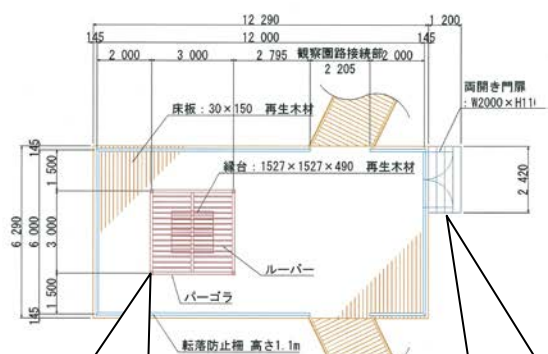
観察園路



イメージ



観察デッキ



夏はよしずを張り日陰を設置

・デッキの外に階段を設置
・階段の幅は2m

① 観察デッキ〈幅6m×長さ12mの四角形〉

- ・マスト及び観察壁を削除し、自然と調和したシンプルなデザインとしています。
- ・水辺に降りられる階段をデッキの外にしたことで、デッキ部分を広くしています。
(水辺に降りるのは、水辺エリアの維持管理・調査・研究時を想定。)
- ・日陰としてパーゴラを設置しています。また、中央部にベンチを設置しています。
- ・周囲には、高さ1.1mの転落防止柵を設置しています。

② 観察園路〈幅2mで地覆構造のみ〉

- ・他の公園も参考にし、開放感を感じられるシンプルな構造としています。
(※デッキまで距離は約50mと短いため、途中で休憩施設は設けませんでした。)

3. 今後の予定

育む会やアンケートで出されたご意見を全て受け入れることは難しく、最終設計として決定しております。何卒、ご理解いただきたくお願い申し上げます。この設計で、秋以降に工事に着手します。

「国分川調節池を育む会」は、千葉県が整備した国分川調節池において、市民の皆様と行政が協働で上部活用について検討・実行することを目的として設置されました。

※ご連絡先

国分川調節池を育む会事務局（市川市水と緑の部 公園緑地課）
〒272-0033 市川市市川南2丁目9番12号（市川南仮設庁舎）
市川市ホームページもご覧下さい！

「国分川調節池を育む会」で検索して下さい。

国分川調節池を育む会

検索